

医療機関名

代表心臓血管麻酔専門医もしくは麻酔科部門長

印

申請者

<記入例>

番号：1（検査リストの NO） 実施日：2011/7/7	所属機関名：慶応大学病院 TEE 検査を行った場所：手術室
患者イニシャル：KY 患者性別：男 患者年齢：68 歳	診断名：僧帽弁閉鎖不全症 術式：僧帽弁形成術 特記事項：体外循環離脱後に SAM を認めた
<p>治療経過と TEE 所見</p> <p>68 歳、男性、僧帽弁閉鎖不全症で僧帽弁形成が予定された。 高血圧の既往がある。 心電図で洞調律</p> <p>術前 TTE 所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左室の肥大：LV 後壁厚 11mm、中隔厚 11mm ・左室拡張末期径 62mm、収縮末期径 42mm、左室駆出率 76% ・左室壁運動異常は特に認めない。 ・左房径 42mm、 ・P2 の逸脱による中等度の僧帽弁閉鎖不全症 ・大動脈弁、三尖弁には狭窄、閉鎖不全の所見なし <p>術中 TEE 所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中等度から重度の僧帽弁閉鎖不全、病変は P2 の逸脱 ・大動脈弁、三尖弁には狭窄、閉鎖不全の所見なし <p>術式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僧帽弁形成術 ・P2 の逸脱部分を切除、縫合 ・リングによる弁輪形成 <p>体外循環離脱後の TEE 所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SAM による左室流出路狭窄を認める。 ・ドブタミンとニトログリセリンを停止し、輸液負荷を行った。 ・頻脈（HR=120bpm）であったため、ランジオロールの持続投与を行った。 ・上記治療にて SAM は改善し、心拍出量も維持された。 	

経過報告書（検査リストのうち 10 症例の治療経過を記載）

年 月 日

医療機関名

代表心臓血管麻酔専門医もしくは麻酔科部門長

印

申請者

NO.1

番号： 実施日：	所属機関名： TEE 検査を行った場所：手術室、内科検査室、集中治療室
患者イニシャル： 患者性別： 患者年齢： 歳	診断名： 術式： 特記事項：

申請者氏名：

NO.2

番号： 実施日：	所属機関名： TEE 検査を行った場所：手術室、内科検査室、集中治療室
患者イニシャル： 患者性別： 患者年齢： 歳	診断名： 術式： 特記事項：

NO.3

番号： 実施日：	所属機関名： TEE 検査を行った場所：手術室、内科検査室、集中治療室
患者イニシャル： 患者性別： 患者年齢： 歳	診断名： 術式： 特記事項：

NO.4

番号： 実施日：	所属機関名： TEE 検査を行った場所：手術室、内科検査室、集中治療室
患者イニシャル： 患者性別： 患者年齢： 歳	診断名： 術式： 特記事項：

NO.5

番号： 実施日：	所属機関名： TEE 検査を行った場所：手術室、内科検査室、集中治療室
患者イニシャル： 患者性別： 患者年齢： 歳	診断名： 術式： 特記事項：

NO.6

番号： 実施日：	所属機関名： TEE 検査を行った場所：手術室、内科検査室、集中治療室
患者イニシャル： 患者性別： 患者年齢： 歳	診断名： 術式： 特記事項：

NO.7

番号： 実施日：	所属機関名： TEE 検査を行った場所：手術室、内科検査室、集中治療室
患者イニシャル： 患者性別： 患者年齢： 歳	診断名： 術式： 特記事項：
[Empty area for detailed report content]	

NO.8

番号： 実施日：	所属機関名： TEE 検査を行った場所：手術室、内科検査室、集中治療室
患者イニシャル： 患者性別： 患者年齢： 歳	診断名： 術式： 特記事項：
[Empty area for detailed report content]	

NO.9

番号： 実施日：	所属機関名： TEE 検査を行った場所：手術室、内科検査室、集中治療室
患者イニシャル： 患者性別： 患者年齢： 歳	診断名： 術式： 特記事項：
[Empty area for detailed report content]	

NO.10

番号： 実施日：	所属機関名： TEE 検査を行った場所：手術室、内科検査室、集中治療室
患者イニシャル： 患者性別： 患者年齢： 歳	診断名： 術式： 特記事項：
[Empty area for detailed report content]	